

令和6年度 在宅患者への非常用発電機等貸出にかかる訓練 報告書

- 訓練実施日 令和6年6月13日(木)
- 訓練名称 連絡・報告訓練、貸出手順及び作動訓練、貸出・運搬訓練
- 訓練場所 大阪府訪問看護ステーション協会、大阪市中心訪問看護ステーション、各設置ステーション
- 参加人数 連絡報告及び作動訓練 設置ステーション44か所
運搬訓練 15名
- 訓練想定 令和6年6月13日11時頃に震度5強の地震が大阪府で発生し、特に大阪市天王寺区付近での被害が大規模となり、大阪市東・南エリアで停電が発生したことを想定。午前中の訓練は、発災1日目を想定し、3か所の設置STでの貸出依頼、また、午後の訓練は、発災2日目として、2か所の設置STでの貸出依頼があったことを想定。そのうち、1か所の設置STでは、貸出依頼のあった仮想の訪問看護ステーションへの運搬訓練を実施。

訓練項目	訓練参加者	人数
連絡体制確認	協会加入の全訪問看護ステーション	924施設
貸出手順及び作動確認	・5設置STは必須 ・それ以外の設置ステーションは任意	・5施設 ・39施設
貸出・運搬確認	大阪市中心訪問看護ステーション	15人

■地図(貸出・運搬訓練)



■作動訓練の様子

①発電機



②蓄電池



■貸出・運搬訓練の様子

①ステーション A から設置ステーションへの貸出依頼



②設置ステーションが受電。ステーション A の訓練受講歴と登録患者を確認。



③停電中のため階段で移動・運搬



④ステーション A の研修終了証と登録患者情報の確認



⑤貸出時の機器（番号）確認



⑥運搬



⑦患者宅到着後、蓄電池と吸引器を接続



⑧訓練人形へ吸引処置



■まとめ（作動訓練／貸出・運搬訓練）

- ・設置ステーションでは、日頃から定期的な訓練を実施しており、今回の訓練でもスムーズに確認作業等が進められていた。
- ・実際に停電中であれば、エレベーターが使えない状況で、重量のある発電機を持つての階段移動は非常に大変であり、運搬方法等についてさらなる検討が必要。
- ・移動手段について、今回は設置ステーションとステーションAが近隣、かつ、2名体制で訓練したため、徒歩で発電機と蓄電池の両方を運搬できたが、重量のあるものを一人で運搬できるよう、地域の実情に合わせた工夫が必要。